

平成 20 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 12 月 27 日

上場会社名 株式会社キリン堂 上場取引所 東証一部・大証二部
 コード番号 2660 URL <http://www.kirindo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺西 豊彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業戦略室長 (氏名) 井村 登 TEL (06)6394-0039

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 2 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 2 月 16 日～平成 19 年 11 月 15 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年2月期第3四半期	79,132	50.0	1,334	120.8	1,507	70.0	441	6.8
19年2月期第3四半期	52,754	6.5	604	△14.6	886	△1.3	413	6.0
19年2月期	72,803	—	1,312	—	1,651	—	577	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年2月期第3四半期	49	68	49	67
19年2月期第3四半期	46	50	—	—
19年2月期	65	00	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年2月期第3四半期	44,683		9,283		19.8	993	74	
19年2月期第3四半期	28,371		8,376		29.5	942	86	
19年2月期	41,851		9,079		20.4	962	07	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年2月期第3四半期	3,260		△1,069		499		5,425	
19年2月期第3四半期	—		—		—		—	
19年2月期	848		△7,331		7,299		2,735	

(注) 四半期キャッシュ・フローの状況の開示を当四半期より実施しておりますので、前年同四半期につきましては記載していません。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期 末		年 間	
	円	銭	円	銭	円	銭
平成 19 年 2 月期	8	50	8	50	17	00
平成 20 年 2 月期 (実績)	8	50	8	50	17	00
平成 20 年 2 月期 (予想)	8	50	8	50	17	00

3. 平成 20 年 2 月期の連結業績予想 (平成 19 年 2 月 16 日～平成 20 年 2 月 15 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	108,727	49.3	2,412	83.8	2,567	55.5	719	24.6	80	16

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 - (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：無
 - (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：有
- [（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループ（当社及び連結子会社）で判断したものであります。予想には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

なお、1株当たり予想当期純利益（通期）につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報に記載のとおり、新株予約権の行使により発行された普通株式数を考慮して算出しており、前回予想から変更いたしております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、企業業績が堅調に推移したことから、設備投資の増加や雇用状況の改善が進み、景気は緩やかに拡大を続けました。一方、米国のサブプライムローンに端を発した世界的なクレジットリスクによる金融不安の影響により、原油をはじめとする原料価格の高騰が食料品の値上げなどの消費者物価に影響し始め、景気の先行きが不透明な状況となっております。

当社が属するドラッグストア業界では、上位企業による積極出店並びに価格競争の激化、改正薬事法の施行に伴う異業態の新規参入等が予想され、M&Aや資本・業務提携等の再編が一段と加速しております。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、関西地域ドミナント化の一層の推進並びに次なるドミナント地域への足がかりを目的に、前連結会計年度において㈱ジェイドラッグ及び㈱ニッショードラッグのM&Aを実施、子会社化いたしました。これにより、当社グループは、新たに「2015年 売上高2,000億円・500店舗」体制を目指し、今期を「次なる成長ステージに向けての踊り場・利益体質への転換」と位置づけ、その実現のための施策を推進しております。

まず、㈱ニッショードラッグとのグループシナジーを追求すべく、当上半期に「仕入先・システム・物流センター」を統合し、当下半期から仕入を一本化いたしました。また同時に、関西地域ドミナント化推進のもと、スーパードラッグストアの積極出店を行うとともに、既存店の活性化による利益率の向上に努めてまいりました。

さらに、㈱ニッショードラッグの連結効果も後押しし、売上高、利益ともに大きく向上いたしました。

この結果、当第3四半期の売上高は791億32百万円（前年同期比50.0%増）、営業利益は13億34百万円（同120.8%増）、経常利益は15億7百万円（前年同期比70.0%増）、四半期純利益は4億41百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

事業の種類別の業績は次のとおりであります。

小売事業におきましては、関西ドミナント化推進のもと、当社がスーパードラッグストアとして、平成19年2月の金沢元町店（石川県金沢市）を含め京都府2店舗、兵庫県4店舗、滋賀県3店舗、三重県1店舗、香川県1店舗、石川県2店舗の計13店舗の出店を行いました。さらに、既存店の活性化対策として、当社が、伊丹鴻池店（兵庫県伊丹市）を含め14店舗、連結子会社が2店舗、合計16店舗の改装を実施いたしました。

また、当第3四半期に、当社がスーパードラッグストア4店舗・小型店5店舗の計9店舗、連結子会社がスーパードラッグストア5店舗・その他1店舗の計6店舗、合計15店舗を閉店いたしました。

以上により、当第3四半期末の当社グループ店舗数は、以下のとおり（合計306店舗）となりました。

	㈱キリン堂	㈱ジェイドラッグ	㈱ニッショードラッグ	合計
スーパードラッグストア （内、調剤薬局併設型）	162 (13)	5 (-)	81 (7)	248 (20)
小型店 （内、調剤薬局併設型） （内、調剤薬局）	50 (2) (15)	1 (-) (-)	3 (-) (-)	54 (2) (15)
その他	1	-	-	1
FC店	3	-	-	3
合計	216	6	84	306

この結果、売上高は、789億84百万円（前年同期比50.1%増）となりました。

製造卸売事業におきましては、販売促進に注力いたしました結果、売上高は、1億48百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期末における総資産は446億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億32百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金等の流動資産の増加によるものであります。

負債の部につきましては、支払手形及び買掛金の増加等により前連結会計年度末に比べ26億29百万円増加し、354億円となりました。

純資産の部につきましては、92億83百万円となりました。また、純資産より新株予約権と少数株主持分を除いた自己資本は88億27百万円となり、前連結会計年度末85億46百万円と比較し、2億81百万円増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期に現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ26億89百万円増加し、54億25百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

《営業活動によるキャッシュ・フロー》

営業活動の結果、得られた資金は32億60百万円となりました。これは、主に新規出店等に伴う売上高の増加、仕入債務の増加額14億6百万円、減価償却費7億94百万円、賞与引当金の増加額4億10百万円等の増加要因及び、たな卸資産の増加額2億66百万円、役員退職慰労引当金の減少額91百万円等の減少要因によるものであります。

《投資活動によるキャッシュ・フロー》

投資活動の結果、使用した資金は10億69百万円となりました。これは、主に新規出店や改装等に伴う有形固定資産の取得による支出8億71百万円、貸付による支出2億3百万円、連結子会社株式の追加取得による支出1億45百万円、店舗敷金保証金の支出98百万円によるものであります。

《財務活動によるキャッシュ・フロー》

財務活動の結果、得られた資金は4億99百万円となりました。これは、主に新株予約権出資金相当額の預かりによる収入10億円、割賦代金の支払による支出2億3百万円、配当金の支払1億38百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期における新規出店は、スーパードラッグストア14店舗を計画しており、当第3四半期終了時点でスーパードラッグストア13店舗を出店済みであります。

また、当第3四半期の実績も概ね予想通り推移していることから、売上高、経常利益、当期純利益における当期の見通しは、前回予想(平成19年4月3日に発表した平成20年2月期の連結業績予想)に特段の変更はございません。

なお、1株当たり予想当期純利益(通期)につきましては、当第3四半期末(平成19年11月15日)から本「平成20年2月期 第3四半期財務・業績の概況」の発表日(平成19年12月27日)までの間、新株予約権の行使により普通株式数が554,860株増加したため変更しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

従来、店舗等の転貸取引に係る費用は、販売費及び一般管理費の「賃借料」、「減価償却費」及び「その他」に計上し、転貸先からの受取家賃は販売費及び一般管理費の「賃借料」より控除しておりましたが、当第3四半期より、子会社の買収を契機に閉鎖店舗の転貸が増加したことに伴い、当該科目の金額的重要性が高まったことから、受取家賃を営業外収益の「転貸店舗等受取家賃」とし、それに対応する費用を営業外費用の「転貸店舗等関連費用」として処理することに変更いたしました。

この結果、従来の方法と比較して、販売費及び一般管理費の「賃借料」は36,168千円、「減価償却費」は10,580千円、「その他」は8,969千円それぞれ減少し、営業利益が55,718千円増加しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表
 (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年2月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年2月期 第3四半期末)		増減		(参考) 前期末 (平成19年2月期末)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	2,083,677		5,481,565		3,397,888		2,791,580	
2. 受取手形及び売掛金	820,824		972,786		151,961		925,625	
3. たな卸資産	9,422,083		13,315,952		3,893,868		13,049,468	
4. 繰延税金資産	270,030		414,845		144,814		342,282	
5. その他	1,561,526		1,929,776		368,250		1,860,759	
流動資産合計	14,158,142	49.9	22,114,925	49.5	7,956,783	56.2	18,969,717	45.3
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物及び構築物	6,222,435		7,902,629		1,680,193		7,529,983	
(2) その他	664,559		955,836		291,276		1,209,048	
有形固定資産合計	6,886,995	24.3	8,858,465	19.8	1,971,469	28.6	8,739,031	20.9
2. 無形固定資産								
(1) 連結調整勘定	—		—		—		4,049,425	
(2) のれん	—		3,767,635		3,767,635		—	
(3) その他	236,311		244,380		8,068		215,640	
無形固定資産合計	236,311	0.8	4,012,015	9.0	3,775,704	—	4,265,066	10.2
3. 投資その他の資産								
(1) 長期貸付金	2,073,927		3,172,655		1,098,728		3,201,775	
(2) 繰延税金資産	539,305		910,534		371,229		1,017,476	
(3) 敷金保証金	3,109,922		4,154,326		1,044,404		4,097,810	
(4) その他	1,428,962		1,564,357		135,394		1,673,067	
(5) 貸倒引当金	△62,289		△103,430		△41,141		△112,666	
投資その他の資産合計	7,089,829	25.0	9,698,444	21.7	2,608,614	36.8	9,877,464	23.6
固定資産合計	14,213,135	50.1	22,568,924	50.5	8,355,789	58.8	22,881,562	54.7
資産合計	28,371,277	100.0	44,683,850	100.0	16,312,572	57.5	41,851,280	100.0

(単位：千円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年2月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年2月期 第3四半期末)		増減		(参考) 前期末 (平成19年2月期末)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	10,602,169		13,760,887		3,158,717		12,355,558	
2. 短期借入金	3,670,835		9,898,490		6,227,655		8,714,186	
3. 未払法人税等	100,563		503,374		402,811		423,886	
4. 賞与引当金	500,013		728,615		228,602		317,888	
5. その他	1,361,120		3,035,906		1,674,785		1,967,253	
流動負債合計	16,234,701	57.2	27,927,274	62.5	11,692,572	72.0	23,778,773	56.8
II 固定負債								
1. 長期借入金	3,317,450		6,799,590		3,482,140		8,142,570	
2. 退職給付引当金	52,051		84,107		32,056		115,219	
3. 役員退職慰労引当金	94,645		—		△94,645		91,050	
4. その他	296,402		589,859		293,456		644,121	
固定負債合計	3,760,549	13.3	7,473,557	16.7	3,713,007	98.7	8,992,960	21.5
負債合計	19,995,251	70.5	35,400,832	79.2	15,405,580	77.0	32,771,734	78.3
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	2,486,518	8.8	2,486,518	5.6	—	—	2,486,518	5.9
2. 資本剰余金	2,472,489	8.7	2,472,489	5.5	—	—	2,472,489	5.9
3. 利益剰余金	3,375,458	11.9	3,830,187	8.6	454,728	13.5	3,539,859	8.5
4. 自己株式	△462	△0.0	△462	△0.0	—	—	△462	△0.0
株主資本合計	8,334,003	29.4	8,788,732	19.7	454,728	5.5	8,498,404	20.3
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	42,022	0.1	39,162	0.1	△2,859	△6.8	48,250	0.1
2. 繰延ヘッジ損益	—	—	49	0.0	49	—	—	—
評価・換算差額等合計	42,022	0.1	39,212	0.1	△2,810	△6.7	48,250	0.1
III 新株予約権	—	—	2,825	0.0	2,825	—	2,825	0.0
IV 少数株主持分	—	—	452,249	1.0	452,249	—	530,065	1.3
純資産合計	8,376,026	29.5	9,283,018	20.8	906,992	10.8	9,079,545	21.7
負債純資産合計	28,371,277	100.0	44,683,850	100.0	16,312,572	57.5	41,851,280	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年2月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年2月期 第3四半期)		増減		(参考) 前期 (平成19年2月期)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
I 売上高	52,754,155	100.0	79,132,655	100.0	26,378,499	50.0	72,803,879	100.0
II 売上原価	39,797,488	75.5	58,424,838	73.8	18,627,350	46.8	54,637,576	75.0
売上総利益	12,956,667	24.5	20,707,817	26.2	7,751,149	59.8	18,166,302	25.0
III 販売費及び一般管理費	12,352,185	23.4	19,372,964	24.5	7,020,778	56.8	16,854,280	23.2
1. 販売促進費	837,681		1,220,363		382,682		1,220,419	
2. 報酬・給与及び手当	4,612,584		7,496,982		2,884,398		6,686,492	
3. 賞与引当金繰入額	492,793		726,763		233,970		259,690	
4. 退職給付費用	61,638		67,700		6,062		82,184	
5. 役員退職慰労引当金繰入額	8,534		700		△7,834		8,534	
6. 福利厚生費	496,791		754,150		257,359		665,531	
7. 賃借料	2,652,676		4,170,508		1,517,832		3,614,218	
8. 減価償却費	568,951		783,299		214,348		785,593	
9. その他	2,620,534		4,152,493		1,531,958		3,531,616	
営業利益	604,482	1.1	1,334,853	1.7	730,371	120.8	1,312,022	1.8
IV 営業外収益	348,226	0.7	629,694	0.8	281,468	80.8	454,845	0.6
1. 受取利息	32,252		50,528		18,275		43,893	
2. 受取情報処理料	203,831		276,387		72,556		251,010	
3. 転貸店舗等受取家賃	—		187,412		187,412		—	
4. その他	112,142		115,366		3,224		159,940	
V 営業外費用	66,261	0.1	457,258	0.6	390,996	590.1	115,547	0.1
1. 支払利息	43,937		180,122		136,185		74,342	
2. 転貸店舗等関連費用	—		243,131		243,131		—	
3. その他	22,324		34,004		11,679		41,204	
経常利益	886,446	1.7	1,507,290	1.9	620,843	70.0	1,651,320	2.3
VI 特別利益	13,243	0.0	30,859	0.1	17,616	133.0	13,243	0.0
1. 貸倒引当金戻入益	43		8,946		8,903		43	
2. 預り保証金解約益	13,200		—		△13,200		13,200	
3. 保険解約等差益	—		16,857		16,857		—	
4. その他	—		5,055		5,055		—	
VII 特別損失	118,051	0.2	214,085	0.3	96,033	81.3	524,463	0.7
1. 店舗閉鎖損失	27,269		104,309		77,040		82,678	
2. 減損損失	90,529		70,831		△19,698		437,528	
3. その他	252		38,944		38,692		4,256	

(単位：千円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年2月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年2月期 第3四半期)		増減		(参考)前期 (平成19年2月期)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
税金等調整前四半期 (当期)純利益	781,639	1.5	1,324,064	1.7	542,425	69.4	1,140,100	1.6
法人税、住民税及び事 業税	456,319	0.9	801,150	1.0	344,830	75.6	698,648	1.0
法人税等調整額	△87,737	△0.2	43,004	0.1	130,742	—	△136,006	△0.2
少数株主利益	—	—	38,560	0.0	38,560	—	—	—
四半期(当期)純利益	413,056	0.8	441,348	0.6	28,291	6.8	577,457	0.8

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当四半期 (平成20年2月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年2月期)
区 分	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,324,064	1,140,100
減価償却費	794,209	786,097
減損損失	70,831	437,528
連結調整勘定償却額	—	△30,667
のれん償却額	310,945	—
貸倒引当金の減少額	△9,235	△43
賞与引当金の増加額	410,727	6,078
退職給付引当金の減少額	△31,111	△59,967
役員退職慰労引当金の増減額	△91,050	4,938
受取利息及び受取配当金	△51,495	△44,990
支払利息	180,122	74,342
保険解約等差益	△16,857	—
固定資産除却損	19,856	72,377
店舗閉鎖損失	70,850	—
売上債権の増加額	△47,160	△111,708
たな卸資産の増加額	△266,483	△1,054,947
仕入債務の増加額	1,406,702	1,175,747
その他資産の増加額	△19,734	△340,154
その他負債の増減額	93,437	△70,732
役員賞与の支払額	—	△49,000
その他	△32,137	△30,106
小計	4,116,481	1,904,892
利息及び配当金の受取額	49,396	42,851
利息の支払額	△186,958	△75,420
法人税等の支払額	△718,705	△1,024,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,260,214	848,300

(単位：千円)

	当四半期 (平成20年2月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年2月期)
区 分	金 額	金 額
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入れによる支出	△11	△1
有形固定資産の取得による支出	△871,723	△1,826,975
有形固定資産の売却による収入	2,088	—
無形固定資産の取得による支出	△29,300	△77,079
投資有価証券の取得による支出	△22,032	△836
投資有価証券の売却による収入	5,268	—
新規連結子会社取得による支出	—	△5,012,356
連結子会社株式の追加取得による支出	△145,560	—
貸付けによる支出	△203,464	△253,848
貸付金の回収による収入	205,444	150,473
店舗敷金保証金の支出	△98,659	△291,067
店舗敷金保証金の回収	54,794	72,090
その他投資等による支出	△75,299	△101,601
その他投資等による収入	108,785	9,907
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,069,669	△7,331,294

(単位：千円)

	当四半期 (平成20年2月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年2月期)
区 分	金 額	金 額
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,400,000	4,340,000
短期借入金の返済による支出	△5,540,000	△1,500,000
長期借入れによる収入	1,800,000	6,400,000
長期借入金の返済による支出	△2,818,676	△1,717,841
新株予約権の発行による支出	—	△5,384
新株予約権出資金相当額の預かりによる収入	1,000,000	—
配当金の支払額	△138,807	△186,930
割賦代金の支払による支出	△203,088	△30,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	499,428	7,299,403
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額	2,689,973	816,409
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	2,735,626	1,919,217
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	5,425,599	2,735,626

(4) 販売実績

当四半期の販売実績を事業の種類別ごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

事業の種類別の名称	前年同四半期 (平成19年2月期第3四半期)		当四半期 (平成20年2月期第3四半期)		(参考) 前期 (平成19年2月期)
小売事業	52,609	6.8%	78,984	50.1%	72,618
製造卸売事業	144	△47.9	148	2.6	185
合計	52,754	6.5	79,132	50.0	72,803

- (注) 1. パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
 2. 事業の種類間の取引については相殺消去しております。
 3. 小売事業における品目別売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分			前年同四半期 (平成19年2月期第3四半期)			当四半期 (平成20年2月期第3四半期)			(参考) 前期 (平成19年2月期)	
			金額	構成比	対前年 同四半期 増減率	金額	構成比	対前年 同四半期 増減率	金額	構成比
店 舗 売 上 高	商 品 売 上 高	医薬品	11,456	21.8%	2.9%	16,679	21.1%	45.6%	16,021	22.1%
		健康食品	3,250	6.2	△9.6	3,411	4.3	4.9	4,322	6.0
		化粧品	14,023	26.6	8.9	20,687	26.2	47.5	19,331	26.6
		育児用品	2,517	4.8	1.5	3,639	4.6	44.6	3,552	4.9
		雑貨等	18,607	35.4	10.2	31,090	39.4	67.1	25,590	35.2
		計	49,854	94.8	6.2	75,509	95.6	51.5	68,818	94.8
高	調剤売上高	2,568	4.8	22.8	3,268	4.1	27.3	3,546	4.9	
小計			52,423	99.6	6.9	78,778	99.7	50.3	72,364	99.7
その他			186	0.4	△13.7	206	0.3	10.4	253	0.3
合計			52,609	100.0	6.8	78,984	100.0	50.1	72,618	100.0

4. 上記店舗売上高における提出会社及び国内子会社の売上高構成比は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分			前年同四半期 (平成19年2月期第3四半期)			当四半期 (平成20年2月期第3四半期)			(参考) 前期 (平成19年2月期)	
			金額	構成比	対前年 同四半期 増減率	金額	構成比	対前年 同四半期 増減率	金額	構成比
提出会社			52,423	100.0%	6.9%	56,423	71.6%	7.6%	71,928	99.4%
国内子会社			—	—	—	22,354	28.4	—	436	0.6
合計			52,423	100.0	6.9	78,778	100.0	50.3	72,364	100.0